報道発表資料

2024（令和６）年 11 月 18 日

鉄道・運輸機構
JRTT

北海道新幹線 羊蹄トンネル(有島)他工区の掘削再開について

羊蹄トンネル（有島）他工区では、岩塊の出現によりトンネル掘削を停止しておりましたが、令和６年 11 月に岩塊を除去し、本日掘削再開しますので、お知らせいたします。

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の羊蹄トンネル（有島）他工区（工区延長4,245m）は、シールドマシンを使用したSENS（センス）工法※によりトンネル掘削を進めていたところ、令和6年4月から岩塊の出現により掘削を停止しておりました。

学識経験者からのご意見を踏まえ、令和6年8月からオールケーシング工法※による地上からの岩塊の撤去を行ってまいりましたが、このたび、岩塊の撤去が完了し、トンネル掘削再開に向けた準備が整いましたので、令和6年11月18日からトンネル掘削を再開します。

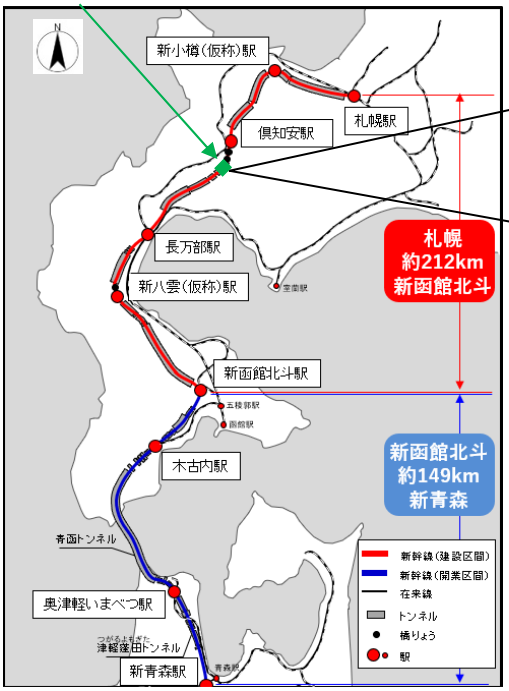
引き続き安全に留意して工事を進めてまいります。

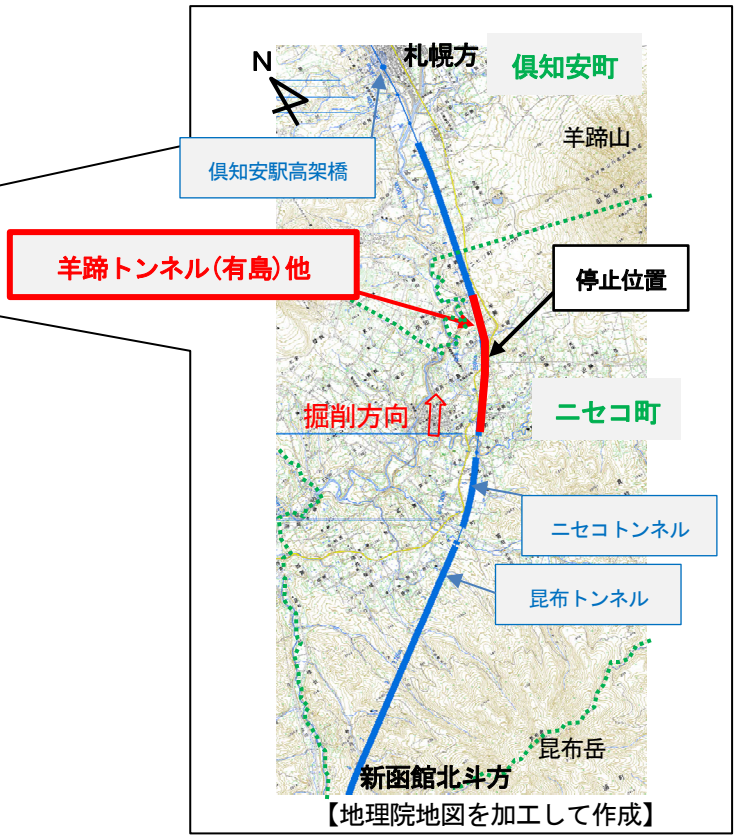
※SENS（センス）とは、シールドマシンを用いて掘削を行い、掘削と同時にコンクリート（現場打ち）でトンネル内面を覆う工法で、シールド工法とNATMを併せたトンネル工法です。

※オールケーシング工法とは、地上からケーシングと呼ばれる鉄製の筒を回転しながら地盤に挿入し、ケーシングの中を掘削することで岩塊を取り除く工法です。

＜本件に関するお問合せ先＞
北海道新幹線建設局　総務部　広報・渉外課
TEL：011-231-3456

羊蹄トンネル（有島）他 延長= 4,245m





【地理院地図を加工して作成】

撤去された岩塊

オールケーシング工法による岩塊除去状況